

【親鸞部門(中学)・奨励賞】

どうにかなるさ。

私立大谷中学校 第3学年 篠原聖宙

私が未来の自分に伝えたいことは、正直しっかりと思い浮かんでいません。

なぜなら、今私は思春期真っ只中で自分の気持ちに素直になれず、まだまだ未熟で未来の自分に胸を張って物を言えるような過ごし方ができていないからです。

だけど、作文を書くことによって未熟な自分なりの思いを未来の自分に文字に起こして伝えたいと思います。

未来の自分に伝えたいことは、自分を受け入れる大切さです。

家族の前でおちゃらけている私、学校で猫をかぶっている私、夜に虚しさに浸っている私、人によって接し方や態度が変わろうとも全て私です。こんな自分を自分自身が受け入れなくて誰が受け入れてくれるのでしょうか。自分自身が自分の一番の味方であることが大切だと思います。

そして、自分と向き合う大切さを伝えたいです。

例えば、今の私で言うと学校に行けてない自分と向き合うことです。どこかできちんとしないといけないと分かっているけど悪循環から抜け出せないでいます。少しずつでもいいから、良い方向に物事が向かうように、部屋の掃除からしてみようかと思っています。

もし、つらいことがあっても自暴自棄にならないでください。

「「どうにかなるさ。」という言葉は他人ではなく自分に使うものです。」

これは、好きな曲のワンフレーズです。この曲を聴くと前向きな気持ちになれます。苦しくなった時は、好きな曲を聴いたり、散歩してみてください、気分が晴れるかもしれません。

このようなことを、私は未来の自分に伝えたいと思っています。

未来の私にとって少しでも楽になれるような日が来ますように。